

Rational 003

(2016/10)

1. はじめに

ポリ α オレフィンベースの半練状コンタクトオイルです。拡散流失せず、変質・蒸発しません。電子機器で使われているプラスチックや樹脂に対する悪影響がほとんどありません。あらゆる電気接点に塗布して接点の錆び・接触不良・コネクタの抜き差しによる磨耗を防止します。

フッ素オイルが使えなかった大電流接点や、通電状態で抜去する接点(USB端子や電源端子)に使うことができ、火花の発生を抑えて接点の寿命を伸ばします。

新品の接点に早やかに塗布する事で、初期性能を長期間(ほぼ機器の寿命まで)持続させることが期待できます。

2. 用途

- ・オーディオ機器、AV機器、DOS/V機器の電気接点の接触安定
- ・アークによる接点の損傷軽減(数Aレベル)
- ・ケーブル差込、抜去時の潤滑および、摩耗やメッキ剥がれの防止
- ・金メッキ、ニッケルメッキ端子の防錆
- ・使っていないケーブルや端子部の防錆保護
- ・プラスチック部品の摺動部潤滑、摩耗防止

詳しくは下記を参照してください

<http://souzouno-yakata.com/rationalseries/>

3. 使えない用途

下記の用途には使えませんのでご注意ください。

- 10Aを超える大電流接点

本品は数Aまでの接点に適合し、10Aを超える大電流接点には対応していません。

- カーボン接点、導電ゴムパッド

キーボード、電卓のラバー接点。油膜が切れにくいため、接触が悪くなります。

- 磨耗や腐蝕などが原因で著しく劣化した接点

油膜が接触を阻害し逆効果になることがあります。

- 元々接触圧が弱い接点

微細に作られた特殊接点や、品質の悪い接点(S端子などに多い)では接触圧が小さいため油膜が切れず、接触不良を起こすことがあります。この場合オイルを除去すれば元に戻ります。

- リレー接点

リレー接点は微妙なバランスで設計されており、何もしないのが無難です。

- ゴム類

多少の影響があります。

4. 使用方法

(1)接点に付いている油分や汚れ、埃等をよく取り除いてください。既に他のオイルが付いている場合は、6項を参照して取り除いてください。

(2)長時間静置した場合、成分が分離している場合があります。この場合は事前によく振るか、攪拌してからご使用ください。

(3)接点にオイルを薄く塗布します。このとき電気接点以外の部分に出来るだけオイルが付かないようにしてください。

注:接点以外の部分に塗布すると、差込が抜けやすくなるなどの弊害が起こる可能性があります。また、塗りすぎると垂れの原因になります。

<ヒント>

メス型接点に対してはオス側に塗布して差し込むと容易に塗布できます。

細長い場所は厚紙やダンボールの切れ端に塗布して差し込むようにすると簡単です。

(4)接点を勘合させ、余分になじみ出てきたオイルを拭き取ってください。余分なオイルを除去しないままにしておくと、ホコリが付着し汚れや接点不良の原因になります。

(5)使用後はキャップを閉めて冷暗所に保管ください。

使っていないケーブルやコネクタに塗布した場合は、サランラップで包んだり養生テープ等でホコリが付かないよう被服してください。

接点の防錆、保護の為には、可能な限り新しいうちに塗布することが効果的です。

5. オイルの除去方法

- (1)乾いた不織布(カー用品店で手に入るレーヨン100%の不織布など)でよく拭きます。
- (2)下記のクリーナを使って洗浄します。

HCL LENSクリーナ 堀内カラー

EEクリーナ オリンパス

これらはカメラ量販店などで入手できます

これらのクリーナはプラスチックや印刷に対する影響がゼロではありません。目立たない部分で試してからお使いください。

6. 注意

- (1)飲み込んだり、皮膚に塗ったまま長時間放置しないでください。皮膚に付いた場合は石けん等で洗浄してください。
- (2)注射器の針先を人に向けないでください。また、ピストンを強く押さないでください。針先は安全のため鋭利な部分をカットし、研磨してありますが、金属やプラスチックなどに強く当てると相手を傷つけることがあります。

7. Q&A、トラブル

(1)現在、他のコンタクトオイルを塗っていますが、どうしたらよいでしょう

既に他のオイルが塗布されている場合は、6 項を参考に洗浄&除去してからお使いください。

(2)接点を復活、洗浄させることはできますか？

本品は洗浄剤を含んでいませんので、錆びた接点の復活や、汚れた接点を洗浄する作用はありません。

(3)塗ったはずのオイルが見えなくなった

本オイルは常温では蒸発しませんので、金属表面に塗布した物が無くなることはありません。但し、プラスチック、ゴムは、オイルが染み込みますので、これによって塗布したオイルが見えなくなることがあります。

プラスチックにオイルが染み込んでも絶縁特性に影響を与えませんが、摩擦係数が小さくなって抜けやすくなる場合があります。

(4)オイルを塗ったら接触が悪くなってしまった

キーボード、電卓などに使われているカーボン接点や、元々接触圧が小さい接点では油膜が切れず接触が悪くなる場合があります。

また、アークが飛ぶような大電流接点に塗布すると逆効果で、塗らない場合より接点の寿命を短くする場合があります。

(5)品質保持、消費期限はありますか？

キャップを閉めて冷暗所に保管したオイルは基本的に劣化しませんので、品質保持期限ありません。末永くお使いいただけます。

8. 連絡先

使用法に関するご質問やご意見等は、メールにて受け付けます。下記アドレスにメールをお送りください。

<http://souzouno-yakata.com/acces/>

メール以外の通信手段(電話等)によるお問い合わせには、応じかねますのでご了承ください。

創造の館 ホームページ

<http://souzouno-yakata.com/>